

2026年6月30日

各位

株式会社池田泉州銀行

Funds Venture Debt Fund 2号投資事業有限責任組合 への出資について

株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 阪口 広一）は、今般、Funds Startups 株式会社（以下「Funds Startups」）が組成した「Funds Venture Debt Fund 2号投資事業有限責任組合」（以下「Funds 2号ファンド」）に出資参画いたします。

Funds Startups は、「社会的インパクトを創出するスタートアップが、最も理想的な成長を遂げられる仕組みを開発する」ことをミッションとして、2023年12月に設立され、2024年に組成された「Funds Venture Debt Fund 1号投資事業有限責任組合」（以下「Funds 1号ファンド」）をGPとして運営しており、当行をはじめ同ファンドに出資参画している金融機関は、Funds Startups からベンチャーデットに関する様々なノウハウ提供を受けてきました。

今般、Funds 1号ファンドでの実績をベースに、社債取得型のベンチャーデットのみならず、補助金ブリッジファイナンスや転換社債型新株予約権付社債も支援メニューに加え、シード・アーリー期からレイト期に至る多様なスタートアップの資金調達ニーズに対し、一気通貫で支援することを企図した Funds 2号ファンドが組成されたものです。

池田泉州ホールディングスグループは、従前より、スタートアップ支援を地域におけるイノベーション創出に向けた重要な取組みと位置付け、2003年以来、20年以上にわたり独自の助成金制度を運営してまいりました。また、池田泉州キャピタル株式会社が運営する投資ファンドや外部ファンドとの連携等を通じ、大阪・関西地域におけるイノベーション創出を積極的にサポートし、地域の皆様とともにイノベーション・エコシステムの活性化に取り組んでまいりました。今般の Funds 2号ファンドへの出資参画により、ベンチャーデットに関する知見を一層深めるとともに、今後もスタートアップへの多様な支援を通じ、新たな産業の創出と地域経済の持続的な成長に貢献してまいります。

<2号ファンドの概要>

名称：Funds Venture Debt Fund 2号投資事業有限責任組合

投資対象：ディープテック領域を中心とするスタートアップ（但し、ディープテックに限らない）

無限責任組合員（GP）：Funds Startups 株式会社

有限責任組合員（LP）：株式会社池田泉州銀行をはじめとする金融機関等

目標ファンドサイズ：100億円

主な投資手法：ベンチャーデット（新株予約権付／無し）、補助金ブリッジファイナンス、
転換社債型新株予約権付社債（CB）

以上